

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

【平成22～23年度計画における局内評価結果および経営懇話会意見等】

平成24年10月

函館市企業局

1 財政収支試算等の計画・実績

(1) 財政収支試算

(単位:百万円,税込)

区分	22年度			23年度			24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	当初予算	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	15	2,735	2,755	20	2,735	2,736	1	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	-310	16,129	15,578	-551	15,981	14,444	-1,537	15,853	15,743	15,651	15,574	15,510	15,461	15,425
	前年増減比(%)	-1.16		-	-1.04	-2.56	-	-0.92	-7.28	-	-0.80	-0.69	-0.58	-0.49	-0.41	-0.32	-0.23
	車両数(両)	32	32	0	32	32	0	32	32	0	32	32	32	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	0	107	114	7	104	106	2	104	108	106	106	106	105	105
	正職員数	69	69	0	69	69	0	66	67	1	66	66	66	66	66	66	66
	嘱託職員等	40	40	0	38	45	7	38	39	1	38	42	40	40	40	39	39
経常収支	営業収益	1,012	1,023	11	1,002	991	-11	987	992	5	977	968	963	954	948	943	942
	うち料金収入	953	965	12	942	939	-3	927	929	2	917	907	901	892	886	880	878
	営業外収益	293	280	-13	288	286	-2	295	306	11	300	321	314	313	302	316	301
	うち一般会計補助金	203	197	-6	198	201	3	204	218	14	209	230	223	222	212	226	211
	経常収益計	1,306	1,303	-3	1,290	1,277	-13	1,282	1,298	16	1,277	1,289	1,276	1,266	1,250	1,259	1,243
	営業費用	1,230	1,202	-28	1,231	1,228	-3	1,171	1,181	10	1,168	1,276	1,219	1,204	1,212	1,233	1,182
	人件費	611	592	-19	626	610	-16	558	553	-5	567	670	630	584	622	635	606
	うち職員給与費	486	480	-6	490	478	-12	472	452	-20	481	489	487	493	505	511	517
	うち退職金	37	25	-12	50	49	-1	0	0	0	0	87	52	0	26	36	0
	経費	453	433	-20	448	449	1	449	457	8	442	433	427	420	402	393	387
	動力・燃料費	50	47	-3	50	48	-2	50	49	-1	50	50	50	50	50	50	50
	修繕費	252	236	-16	249	239	-10	255	248	-7	251	246	244	240	225	220	217
	その他	151	150	-1	148	162	14	144	160	16	140	137	133	130	127	124	121
	減価償却費	166	177	11	159	169	10	165	171	6	160	173	163	200	188	204	188
	営業外費用	75	61	-14	70	53	-17	65	57	-8	61	57	59	59	60	60	59
	うち支払利息	31	32	1	28	27	-1	25	25	0	23	21	26	28	28	28	28
	予備費								2	2							
経常費用計	1,305	1,263	-42	1,302	1,281	-21	1,237	1,240	3	1,229	1,333	1,278	1,263	1,271	1,292	1,241	
差引	1	40	39	-12	-4	8	45	58	13	48	-44	-2	3	-21	-33	2	
特別損益	特別利益	118	118	0	118	85	-33	118	93	-25	118	118	118	118	118	110	
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	差引	118	118	0	118	85	-33	118	93	-25	118	118	118	118	118	110	
純損益	118	158	40	106	81	-25	163	151	-12	166	74	116	121	97	85	111	
資本的収支	資本的収入	163	153	-10	279	265	-14	317	373	56	344	414	291	188	209	162	142
	うち企業債	85	75	-10	146	133	-13	160	169	9	136	350	218	149	95	108	90
	うち市・国補助金	78	78	0	133	132	-1	157	204	47	209	64	73	39	114	54	53
	資本的支出	298	296	-2	396	389	-7	399	459	60	424	480	367	306	335	256	258
	うち建設改良	120	118	-2	216	209	-7	230	290	60	265	350	253	184	224	143	141
うち企業債償還元金	178	178	0	180	180	0	169	169	0	159	130	114	122	111	113	117	
差引	-135	-143	-8	-117	-124	-7	-82	-86	-4	-80	-66	-76	-117	-126	-94	-116	
補填財源	284	334	50	265	248	-17	328	322	-6	325	247	279	321	285	289	300	
単年度資金過不足額	149	190	41	148	124	-24	246	236	-10	246	181	203	204	159	195	184	
累積資金過不足額	-1,023	-980	43	-875	-855	20	-629	-628	1	-383	-202	1	205	364	560	743	
軌道事業分	31	72	41	61	112	51	189	246	57	317	380	465	551	592	669	743	
自動車運送事業分	-1,054	-1,052	2	-936	-967	-31	-818	-874	-56	-700	-582	-464	-346	-228	-110	0	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(2) 建設改良計画 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度			23年度			24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	当初予算	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m		400m	400m		400m	434.5m	+34.5m	100m		200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所														
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所					1か所	1か所								
	駒場変電所改良										実施設計	機器製作	取付等				
	超低床電車購入										1両				1両		
	電車車体改良				1両	1両		1両	1両					1両			
	電車車体大規模改修												2両	1両		1両	1両
建設改良費 計	120	114	-6	216	205	-11	230	286	56	265	350	253	184	224	143	141	
財源内訳	企業債	85	75	-10	146	133	-13	160	169	9	136	350	218	149	112	91	90
	国補助金	18	17	-1	35	40	5	35	47	12	65	0	18	18	56	26	26
	市補助金	18	17	-1	35	30	-5	35	35	0	65	0	18	18	56	26	26
	工事負担金								35	35							
	自己資金		5	5		2	2										
	計	120	114	-6	216	205	-11	230	286	56	265	350	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(3) 一般会計補助金総括表 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度			23年度			24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	当初予算	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
施設改善関係	222	230	8	256	265	9	288	304	16	316	258	244	244	270	254	237
減価償却費	131	140	9	130	138	8	141	145	4	140	173	163	186	174	198	183
企業債償還元利金	74	73	-1	91	89	-2	112	110	-2	102	85	64	32	30	30	29
LRT関連補助	18	17	-1	35	30	-5	35	35	0	65		18	18	56	26	26
基礎年金拠出金					3	3		14	14	9			9	9		
その他					5	5										
施設維持保守関係	34	25	-9	34	27	-7	34	34	0	34	34	34				
施設等保守費	34	25	-9	34	27	-7	34	34	0	34	34	34				
累積資金不足額処理関係	125	120	-5	124	86	-38	123	95	-28	122	120	119	118	118	118	110
累積資金不足額解消	118	118	0	118	85	-33	118	93	-25	118	118	118	118	118	118	110
一時借入金利息	7	2	-5	6	1	-5	5	2	-3	4	2	1				
合計	381	375	-6	414	378	-36	445	433	-12	471	413	397	362	388	372	347

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(4) 累積資金不足額の処理計画 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度			23年度			24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	当初予算	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
前年度末累積資金不足額	1,172	1,169	-3	1,054	1,051	-3	936	967	31	818	700	582	464	346	228	110
資金不足解消額	118	118	0	118	85	-33	118	93	-25	118	118	118	118	118	118	110
支払利息	7	2	-5	6	1	-5	5	2	-3	4	2	1				
計	125	120	-5	124	86	-38	123	95	-28	122	120	119	118	118	118	110
資金不足残額	1,054	1,051	-3	936	966	30	818	874	56	700	582	464	346	228	110	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ア) 均一料金制度についての検討の継続					
対策内容	利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標		○乗客動向調査の実施 ○均一料金の試行等による基礎的なデータ収集		○収入への影響等の検討、庁内協議および方向付けの整理		○函館バスや一般会計との協議 ○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
		○担当者間の協議を4回開催し、熊本市での実施状況を調査した。		○実績・成果なし			
実績・成果		○担当者間の協議を4回開催し、熊本市での実施状況を調査した。		○実績・成果なし			

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	担当者の協議を行い、近年、熊本市において実施した経過があることから、照会を送付し資料を収集した程度の実績となっている。 しかし、平成23年度において震災以降大幅な収入減となったことや、平成24年度は交通料金助成方式の大幅な変更があったことから、試行などの調査ができない状況である。
今後の方向性	乗客動向アンケート調査の実施や、財政状況を勘案しつつ均一料金の試行実施について検討したいと考えている。 また、消費税の税率アップの時期なども考えて進めていく必要がある。

経営懇話会意見等	利用しやすい均一料金制度を導入するにあたり、シミュレーションやアンケート、試行の実施など事前に資料収集の必要があり、実施に向けての課題もあるが、今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
----------	---

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し
対策内容	「エコロジー・パス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○増客につながる割引制度・定期券の調査・研究				○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
	○「エコロジー・パス」導入について、関係部局・函バスとの協議	○調査、研究、協議結果に基づく庁内協議および方向付けの整理				
実績・成果	○交通局(当時)と協議のうえ、企画部企画管理課においてこれまでの調査・研究結果をまとめた。	○実績・成果なし				

平成22~23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	「エコロジーパス等」については、企画部との協議を数回行い、他都市の状況などを整理し、現状で調査・研究結果をまとめたところである。定期券の割引率見直しについては、未検討となっている。
今後の方向性	乗車料金収入が年々減少していることから、増収対策としての新たな制度について検討していきたい。ただし、格安で電車・バスへ乗ることができる「エコロジーパス」については、交通事業者だけでは対応できないことから、市の協力も必要となる。

経営懇話会意見等	収支状況の改善策としては難しい部分もあるが、今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
----------	---

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード, モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○ICカード等の導入事例および実態についての調査・研究			○局内協議および導入可否の整理	《実施の方向性の場合》 H26～27 ○導入に向けた基本調査, 関係機関との協議 H28～ ○仕様作成, 積算, 予算措置, 導入実施	
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし				


平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	具体的な調査は行っていないものの, 公営交通事業協会等の資料により, 他の事業者における事例のいくつかは把握している。
今後の方向性	ICカードに限らず, 他のモバイル等新媒体についても, 費用やその他様々な角度から調査・研究を進めていく。
経営懇話会意見等	都市交通という観点からも事業者単体での実施検討ではなく, 市が中心となって検討していくよう働きかけることが望ましい。

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ア) 職員の接客マナーと企業意識向上の徹底
対策内容	職員全員に対し、乗客接客マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○乗務員を対象とした接客研修を実施する。	○乗務員、窓口業務を中心とした接客研修を実施する。	○運輸サービス業に適した講師による接客研修を実施する。 ○ホームページ等による利用者の意見等を伺う方策を検討する。	○全職員を対象とした接客研修の実施 		
実績・成果	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。 ○企業局および市役所で実施した接客研修やクレーム研修に乗務員、電車内勤者等の現場対応者を参加させた。				


平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	苦情等は以前に比べ少なくなっており、効果は上がっている。
今後の方向性	苦情ゼロへの実践を掲げ、お客様の側へ立った接客のあり方を学びとる。(運輸サービス業に適した講師による接客研修の実施)
経営懇話会意見等	利用者が満足できるサービスの提供に努め、接客マナーの向上を図ることが望ましい。

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築					
対策内容	乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○現行ダイヤの検証 			○検証結果や乗客動向から、ダイヤ改正について検討する。		
実績・成果	○6年ぶりとなるダイヤ改正(大幅改正は平成5年度以来)を行った。 ○ダイヤ改正時に予想した運行密度の検証を行った。(区間時分延長により、乗り残しの発生がないか等)	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○運行実態調査を行い、所要時間等の乖離がないか調査をした。				

平成22～23年度

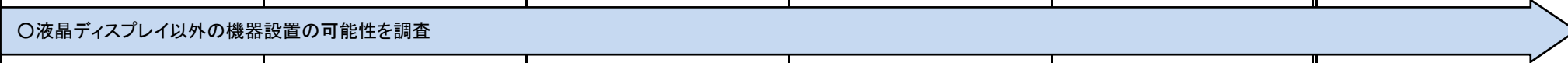
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	平成22年度には現行ダイヤの改正により、5～6分間隔であった日中帯を6分間隔に統一したほか、始終発においては、繰り上げ・繰り下げを行うとともに6分間隔の時間帯を拡大し、利便性を高めた。 また、改正前に行った分析どおり、間隔を広げたことによる影響は生じておらず、経費の削減が図られたほか、利用者からも理解を得られているものと考えられる。
今後の方向性	平成27年開業予定の新幹線に合わせたダイヤ検討を行うとともに、利用者ニーズの多様化や利用実態を分析しながら改正について見極めていく。 また、単に利用実態だけで判断した場合、さらに間隔を広げることも検討材料となるが利用する側の「待っていただける間隔」の検討も行う必要がある。

経営懇話会意見等	利用者ニーズの把握に努め、効果の高い運行ダイヤとなるよう検討していくことが望ましい。
----------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策
対策内容	電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○液晶ディスプレイ以外の機器設置の可能性を調査 					
			○無料で閲覧出来る観光情報を発信するとともに、利用実績などを調査する。			
実績・成果	○液晶ディスプレイを15両の電車内に設置した。	○営業車両の全車両に対し、無線LANによるインターネットに接続出来る環境を整備し、通信サービスの向上を図った。				

平成22～23年度

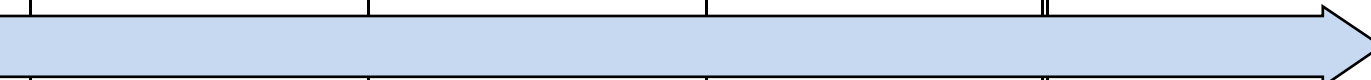
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	新たに導入した液晶ディスプレイにより、市政情報や安全情報などを提供したほか、観光情報として活用されているスマートフォン等の通信サービスの向上を図るため、電車内でインターネットに接続できる環境を整備した。
今後の方向性	今後も引き続き、車内広告スペースの利用拡大を図るとともに、利用者にとって有用となる情報の提供について、方法を含めて検討する。

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおりに進めていくことが望ましい。
----------	--------------------------

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(エ) 他の交通機関との連携強化					
対策内容	乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○関係機関との協議および連携強化 					
実績・成果	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。 ○レトロ電車運行期間において、観光客の利便性の向上を図るため、レトロ電車「箱館ハイカラ號」(企業局)と「箱館浪漫号」(函館バス)との接続運行を行った。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	従前から実施している主要停留場での乗り継ぎのほか、港まつりのイベント運行やレトロ電車運行に合わせた函館バスとの連携により、乗客の利便性向上を図った。
今後の方向性	今後も引き続き、イベント運行等に伴う函館バスとの連携のほか、北海道新幹線開業(平成27年予定)へ向け、関係交通機関との協議・調整を進め、路線運行に対する連携を強化していく。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進					
対策内容	電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○積極的なPR活動および利用勧誘 ○利用促進等についての検討・整理 					
実績・成果	【五稜郭公園前電停】 ○野村証券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村証券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫				

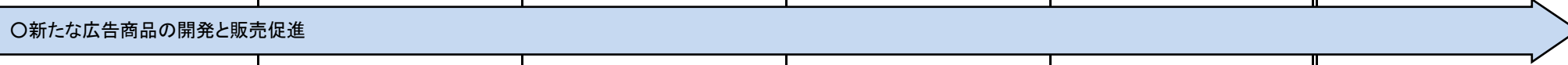
平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	五稜郭公園前電停(野村証券)と魚市場通電停(函館信用金庫)の2箇所が継続して契約中である。
今後の方向性	広告効果を高めるため、現在の電停の表記を整理したうえで、さらに積極的なPR活動や利用勧誘に努め、利用の促進に繋げる。
経営懇話会 意見等	今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売
対策内容	車内および車外を利用した, 新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○新たな広告商品の開発と販売促進 					
実績・成果	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」 ○「車内ストラップ広告」				

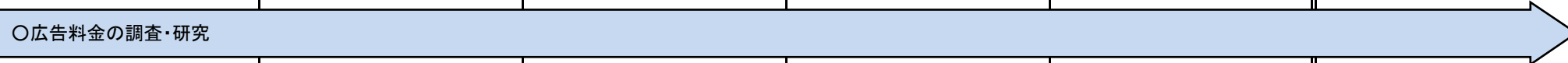
平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	8101号車の車体(窓ガラス含む)広告と9601号車の「バナー広告」を販売したほか, 「車内ストラップ広告」を開発した。
今後の方向性	今後も引き続き, 新規媒体の開発と販売促進に努める。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおりに進めていくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・ 対策目標	○広告料金の調査・研究 					
実績・ 成果	○公営他事業者, 4者の調査を実施した。	○実績・成果なし				

平成22~23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	他都市の調査は行ったものの, 具体的な協議が行われていない。
今後の方向性	現状の分析や他都市の調査結果を踏まえ, 広告料金の妥当性や今後のありかたについて検討を進めていく。

経営懇話会 意見等	広告媒体の認知度や広告能力などを調査し広告効果を高めるとともに, 金額の算出方法や広告の内容なども考えていく必要があるが, 今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
--------------	---

2 収入に係る対策
(3) 広告料収入について

対策項目	(エ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="checked" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
	○オリジナルグッズの開発・販売促進の充実・強化 ○電車事業のイメージアップと収入増加					
実績・成果	【商品】 ○カレンダー ○時計 ○箱館ハイカラ號のダイキャストカー ○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品 ○定期券レプリカキーホルダー	【新規商品】 ○東京都の交通100周年とコラボしたDVD ○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナーポスター」や「ドア挟み注意ステッカー」				

平成22～23年度

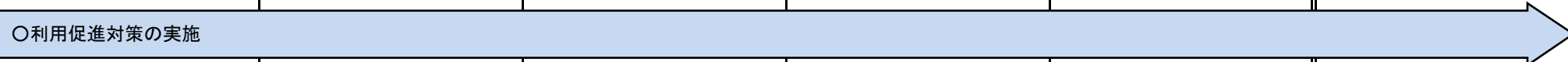
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="checked" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	カレンダーや時計など地元業者の委託販売を強化したほか、東京都の交通100周年とコラボしたDVDを販売し、函館市電のイメージアップを図った。 なお、鉄道むすめのキャラクターを利用したポスターやステッカーは好評であった。
今後の方向性	今後も引き続き、新商品の開発や販売促進を強化するとともに、路面電車開業100周年に関連した記念グッズなどを販売する。

経営懇話会意見等	引き続き、PR効果と収益をあわせて考えた商品の開発をするとともに、効果的な販売方法を検討することが望ましい。
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進					
対策内容	環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○利用促進対策の実施 					
実績・成果	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。
今後の方向性	今後も引き続き、市環境部等と連携し、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかける。
経営懇話会意見等	市の施策でも推進されている事項であり、今後も市と連携して取り組んでいくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	路面電車感謝祭や各記念事業など、毎年実施することにより、利用促進に努めた。
今後の方向性	今後も引き続き、職員自らの企画・制作・運営によるイベント等を開催する。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおりに進めていくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・ 対策目標						
実績・ 成果	○中島れんぱい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんぱい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	路面電車沿線で開催される各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努めた。
今後の方向性	今後も引き続き、各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。

経営懇話会 意見等	今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
--------------	-------------------------

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進
対策内容	旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 					
実績・成果	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーの車内積み込みを実施した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	市電の乗車や車庫見学を含めたツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習コースなどを提案し、観光客等の利用促進に努めたほか、観光コンベンション団体との連携を強化し、一日乗車券等の利用促進に努めた。(H23修学旅行 464件, H23ツアー38件)
今後の方向性	今後も引き続き、旅行代理店や観光コンベンション団体と連携し、観光客等の利用促進に努める。
経営懇話会意見等	引き続き営業活動を強化しながら取り組んでいくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(カ) 交通事業等についての情報発信の強化
対策内容	市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標		○乗継制度等についての周知のための広報の検討・実施				
			○広報活動およびインターネットを活用した情報発信の強化について検討する			
			○情報発信強化についての方法を検討・ホームページの内容の充実			
実績・成果	○乗り継ぎ制度等について、函館バスと協力し、車内にポスターを掲示した。 ○ホームページ掲載の路線図を英語表記を追加した。	○電停広報装置を設置し、遅れなどの運行障害発生情報の発信を開始した。 ○ホームページ掲載の路線図を多言語表記にした。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	乗継制度等の周知について、完了したほか、運行障害発生情報の発信を開始した。
今後の方向性	今後も引き続き、インターネット等を活用した情報発信の強化について検討し、ホームページの内容充実に努める。
経営懇話会意見等	効果的な情報の発信方法について検討していくことが望ましい。

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
	○前年度の実績評価と再検討					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。	○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	本計画策定時に想定していなかったが、水道局と組織統合し、管理部門における類似業務を一本化することで効率化が図られ、正職員2名と嘱託職員1名を削減したほか、交通事業者として課題となっていた安全管理体制の強化を行うことが出来た。
今後の方向性	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおりに進めていくことが望ましい。

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化, 嘱託化推進による人件費の抑制
対策内容	技術職員, 事務職員等の担当業務について, アウトソーシング推進の見地からの評価を行い, 外注化・嘱託化を推進し, 人件費総額の抑制に努める。
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○各所属における業務の効率化の検討	○施設整備業務の外注化拡大に向け, 各種課題の解決を図る。 ○管理業務の嘱託化に向けた課題を整理・実施する。	○外注化および嘱託化の効果の検証		○施設整備業務の外注化の拡大		○外注化拡大の検討				
実績・成果	○施設整備業務のうち, 電路設備業務と車両整備業務について委託業務の拡大を目指し, 検討した。	○水道局との統合による業務の効率化(管理業務の統合)を図り, 管理業務の嘱託化をH24年度から実施することとした。 ○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。									

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	管理業務については, 水道局と統合したことで, 業務の一本化と効率化が図られた。 現在, 部分的な整備については, 外注化を図っているものの, 全体整備に対応できる業者がいらない状況である。このため, 外注化にあたっては, 鉄道関係の業者に技術を継承する必要があるなど, その手法等については慎重に協議しなければならず, 外注化拡大の具体的な計画が出来ていない。
今後の方向性	引き続き, 外注化について, 検討を進めていく。
経営懇話会意見等	外注化については, 技術の継承も含め慎重に検討していくことが望ましい。

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	電力量や共通経費の削減を行い、成果が上がっている。
今後の方向性	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続
対策内容	LRTシステム整備費補助金制度(現: 地域公共交通確保維持改善事業費補助制度)について、国に対し、補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	全国路面軌道連絡協議会などを通じて、補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。
今後の方向性	今後も引き続き、積極的な情報収集を行うとともに、各種団体とも協力しながら、国に対して要望を継続する。

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
----------	-------------------------

4 一般会計からの補助

(1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計
実績・成果	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
----	---

評価理由	ほぼ計画どおりの補助金額となっている。
------	---------------------

今後の方向性	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。
--------	----------------------------

経営懇話会意見等	収支を改善し、補助金額を低減するよう努力が必要ではあるが、今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
----------	--

4 一般会計からの補助

(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①車両および電路、変電所等施設の維持保守経費
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円 (H27～H31の5か年合計)
実績・成果	【補助金】 ① 25 百万円	【補助金】 ① 27 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円 (H27～H31の5か年合計)

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	他の補助金が増となったこともあり、施設維持保守関係の補助金が減っているが、総体では計画どおりと考えている。
今後の方向性	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。

経営懇話会意見等	収支を改善し、補助金額を低減するよう努力が必要ではあるが、今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。
----------	--

5 累積資金不足額の処理

(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について

対策項目	(ア) 一般会計補助金による年次の処理
対策内容	市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27～31年度		
実施計画・対策目標	前年累積額	-1,172 百万円	前年累積額	-1,054 百万円	前年累積額	-936 百万円	前年累積額	-818 百万円	前年累積額	-700 百万円	H27～H31の5か年合計	
	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円		解消額
	不足残額	-1,054 百万円	不足残額	-936 百万円	不足残額	-818 百万円	不足残額	-700 百万円	不足残額	-582 百万円		
	軌道事業補填	31 百万円	軌道事業補填	61 百万円	軌道事業補填	189 百万円	軌道事業補填	317 百万円	軌道事業補填	380 百万円		軌道事業補填
不足額合計	-1,023 百万円	不足額合計	-875 百万円	不足額合計	-629 百万円	不足額合計	-383 百万円	不足額合計	-202 百万円	H31末不足額	743 百万円	
実績・成果	前年累積額	-1,170 百万円	前年累積額	-1,052 百万円	前年累積額	- 百万円	前年累積額	- 百万円	前年累積額	- 百万円	H27～H31の5か年合計	
	解消額	118 百万円	解消額	85 百万円	解消額	- 百万円	解消額	- 百万円	解消額	- 百万円		解消額
	不足残額	-1,052 百万円	不足残額	-967 百万円	不足残額	- 百万円	不足残額	- 百万円	不足残額	- 百万円		
	軌道事業補填	72 百万円	軌道事業補填	112 百万円	軌道事業補填	- 百万円	軌道事業補填	- 百万円	軌道事業補填	- 百万円		軌道事業補填
不足額合計	-980 百万円	不足額合計	-855 百万円	不足額合計	- 百万円	不足額合計	- 百万円	不足額合計	- 百万円	H31末不足額	- 百万円	

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	平成23年度において当該補助金は減額となっているが、これは電車事業での効果が出た分減額となったものである。
今後の方向性	軌道事業への影響を少なくするため、一般会計へ計画どおりの要求をしていきたい。
経営懇話会意見等	一層の経費節減に努めることとし、今後の方向性のとおりに進めていくことが望ましい。

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討			
実績・成果	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	電車優先信号は、関係機関から電車のみを考えた信号調整は難しいとの指摘があり、現状では実施困難と判断した。一方、軌道敷内の乗り入れについては、マーキングなどの案について関係機関と協議したが、道路描写はできないなどの指摘があり滞っている。
今後の方向性	電車優先信号については、現状では実現困難と判断し、今後、状況が変わったときに再度検討をしていくこととした。一方、軌道敷内乗入規制措置等については、他都市の事例などを研究し、検討を深めながら関係機関と更に協議していく。
経営懇話会意見等	要望や協議を続けるのはいいが、具体的にいつの時期にどの程度要望する、または協議するなどの計画を立て、実施していくことが望ましい。

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化
対策内容	自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○リーフレットの内容や配布方法などを見直し、より効果的な啓発に努める。					
			○新しい啓発リーフレットの企画	○新しい啓発リーフレットの制作		
実績・成果	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ●JRA駐車場にて来場者へ配付し周知を図った。 ●丸井今井駐車場にて来客者へ配付し周知を図った。 ●交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ●タクシー協会に配付しタクシー乗務員へ周知を図った。 ●自動車学校に配付し受講者等へ定期的な周知を図った。 ●交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。				

平成22～23年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	計画どおり自動車学校等に啓発リーフレットを配付し、受講者への定期的な周知を図ったほか、街頭等において直接ドライバーに配付することで、軌道敷内の電車優先運行の周知に努めた。
今後の方向性	今後も引き続き、定期的に啓発リーフレットを配付するとともに、受け取った方が印象に残る新しいデザインのリーフレットを製作する。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくことが望ましい。